**国府地域包括支援センター　担当**

* **日　時：　令和5年5月16日（火）午後１時３0分～2時00分**
* **会　場：　栃木市役所**
* **事例数：　1ケース**
* **参加者数： １4名**

**事例提供者１名、サービス提供事業者2名、助言者6名、**

**包括職員2名、傍聴者3名**

**パーキンソン病があるが、仕事をしたい77歳男性**

**〈目標〉１日：毎日、歩行運動を行う。**

**１年：下肢筋力が低下しない。**

**利用サービス：通所リハビリテーション**

**《生活全般の解決すべき課題》**

・歩行時のふらつきや足の上がりを改善したい。

・ゆっくり話すことを心掛け、リハビリ指導を受けて、もっと話がしたい。

・社会参加が促進され、生活に意欲が持てる支援を行う必要がある。

**《助言者からの助言内容》**

・パーキンソン病は進行性疾患であるため、進行を遅らせる・悪化させない。筋力低下を防ぐ。

　　　・咽込みは嚥下能力の低下が考えられるため、顎下・舌の筋力強化を図る。

・発声・滑舌が悪いのは口腔周囲・舌の筋力低下が考えられ、パタカラ運動・ブクブク運動を継続的　　に取り入れていくと良い。

・薬剤の副作用で眠気・ふらつきが生じるものがあるので、転倒に注意する。

　　　・リハビリとして片足立ちの練習、持続時間を確認していくとよい。

　　　・咽込みがある方の食事摂取はお椀・ストローではなく、スプーンで一口ずつ摂取する。

　　　　嚥下・咀嚼の状態に合わせて食事の形態を変えていく。

・仕事の希望について、有償ボランティアはどうか？地域の活動でサロン等予定があるので参加を。

身体・口腔リハビリを継続し、疾患の進行予防を図る。生きがいを考慮した活動の提案。

**☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）**

・本人ができる仕事・地域で活躍できる場所。